

高齢者住宅・施設対象の救急情報シートの活用について説明会が行われました。参加された方は、「救急要請をする時パニックになってしまい伝えたい情報が伝わらない。救急情報シートを活用することでスムーズな搬送が可能になったと思った。」と感想をいただきました。搬送先医療機関の速やかな決定や、本人が望む適切な医療が受けられるよう、事前に必要な情報を記入し準備しておくことでスムーズな救急搬送に繋がります。ぜひ、ご活用ください。

第34回たておう合同学習会

日 時：令和7年9月16日（火）

13：30～15：00

会 場：邑楽町役場3階 大会議室

演 題：「精神保健福祉法と精神科病院の入院について」

講 師：医療法人康生会（社団）つつじメンタルホスピタル

精神保管福祉士 高橋 賢祐 様

参加者：92名

精神科に関する法律や制度について・精神科病院の入院、精神疾患を持つ方との関わりについて、事例を交えながら講演をいただきました。皆さま関心がとても高く、多くの方にご参加いただきました。

住民公開講座

日 時：令和7年10月4日（土）

14：00～16：00

会 場：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール

テーマ：「認知症の予防と治療」

演 題：「生活習慣から最新の治療まで」

講 師：医療法人康生会（社団）つつじメンタルホスピタル

理事会 田淵 肇 先生

演 題：「睡眠のメカニズムとその障害」

講 師：医療法人康生会（社団）つつじメンタルホスピタル

認知症疾患医療センター

センター長 加藤 隆 先生

参加者：482名

高齢化が進む中で、自分や家族誰かが関わる可能性がある認知症・睡眠をテーマにした講演会には、多くの皆さまが足を運んでくださいました。関心を寄せてくださる地域や多職種の方々とともに、認知症・睡眠について学び合う貴重な時間となりました。「認知症の予防について勉強になった」「睡眠の大切さを改めて気づいた」と感想が寄せられました。

MOTTE出前配布

相談センターたておうでは、ACP（アドバンス・ケア・プランニング・人生会議）の地域住民への普及啓発に取り組んでいます。元気なうちに自分らしく最期までどう生きるか？どう伝えるか？

家族や医療者の方と話し合うツールとして、もしものときに想いを伝える手帳（MOTTE）を活用してみませんか？

（施設ご利用者さま、）ご興味のある方がいらっしゃいましたら、お気軽に在宅医療介護連携相談センターたておうまでお問い合わせください。当センター職員が親切・丁寧そして無料で出前配布させていただきます。

少人数でも
OK！

相談センターたておう ホームページ

ホームページを全面リニューアルいたしました。皆さまがより快適に、そして必要な情報にスムーズにアクセスできるよう、デザインを一新し、コンテンツの充実を図りました。ホームページを通じて私たちの活動内容や地域の医療に関する情報、健康に関する知識などを発信していくことで、皆さまと連携をより一層深めていきたいと考えております。今後とも、たておうホームページをご活用ください。

お問い合わせ

在宅医療介護連携相談センターたておう 〒374-0043 館林市苗木町2497-17

TEL：0276-55-0118 FAX：0276-73-0215 ㊚：tateou-soudan@mail.gunma.med.or.jp